

「第2期八王子市地域福祉計画」における

平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

- ① 福祉政策課
- ② 高齢者いきいき課
- ③ 高齢者福祉課
- ④ 障害者福祉課
- ⑤ 生活自立支援課
- ⑥ 保健対策課
- ⑦ 子どものしあわせ課
- ⑧ 子ども家庭支援センター
- ⑨ 防災課
- ⑩ 消費生活センター

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる 重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
社会的弱者 の支援	思いやり駐車スペース 設置補助	思いやり駐車スペース設置事業は、平成22年度に開始し、本庁舎への設置を契機に、市内公共施設35か所・51台分を確保した(平成25年4月1日現在)。今後は、さらなる市民への周知・普及を図るため民間商業施設等への設置を働きかける。その際、案内掲示板等の設置費用の一部を助成する。	・整備費用の2/3以内 [上限160,000] 960,000(-)	民間商業施設等への働きかけを継続する。	新規	・整備費用の2/3以内 [上限160,000] 480,000(960,000)	レベルアップ	福祉政策課
社会的弱者 の支援	成年後見活用	平成25年4月に、八王子市社会福祉協議会内に「成年後見・あんしんサポートセンター八王子」を設置し、成年後見制度の市民への周知を図るとともに、社会貢献型後見人の育成及び活用の推進、法人後見監督の体制強化を図っている。 平成26年度からは、東京都から市へ移管される市民後見人養成基礎研修を実施していく。	・社会貢献型後見人の育成 399,000(123,000) ・法人後見監督の受任 893,550(458,850)	・市民後見人養成基礎研修受講者数 30人<-> …うち、応用研修受講予定 16人 ・法人後見監督の受任 10件<10件>	レベルアップ	・社会貢献型後見人の育成 187,000(399,000) ・法人後見監督の受任 13,792,514(893,550)	レベルアップ	福祉政策課
虐待・孤立化 の防止	社会福祉協議会補助金 運営費	社会福祉法の中で、地域福祉に関わる事業を担うと規定される社会福祉協議会に対し、円滑な事業実施と、適正な運営体制整備のため補助金を助成している。運営費等補助では、小地域福祉活動実施に向け、施設整備費用等を補助する。	・運営費等補助 102,096,000(101,005,000)	・職員人件費補助 20名分 <20名分>	レベルアップ	・運営費等補助 102,562,000(102,096,000)	レベルアップ	福祉政策課
虐待・孤立化 の防止	社会福祉協議会補助金 「いきいきプラン八王子」 の推進	今年度策定する新たないきいきプランを受けて、小地域福祉活動を実践する。地域住民の誰もが気軽に集えるカフェを設置し、常設型サロンとしての機能とともに、社協職員が常駐し、相談や地域福祉のコーディネートを担い、地域内交流、地域課題解決を図る。	・小地域福祉活動の一環 として活動拠点の整備 1,196,000(-)	・地域福祉推進拠点石川を平成26年 12月1日に開設 (併設:かたらいカフェ石川)	新規	・地域福祉推進拠点の運営 1,247,000(1,196,000)	レベルアップ	福祉政策課
災害時の要 援護者支援	社会福祉協議会補助金 ボランティア活動推進 事業	本市が大規模災害に被災した際、ボランティアをとりまとめ、被災者ニーズとの調整を図ることのできるボランティアリーダーを養成する。25年度は、被災地でのボランティア活動に対し、その費用の一部を助成したが、26年度は養成講座、町会・自治会と協働によるボランティア育成等の事業を推進する。	・ボランティア等講座 323,000(222,000)	災害ボランティア養成講座・講演会 5回<6回> 災害ボランティアリーダー登録者数 104人<102人>	レベルアップ	・ボランティア等講座 258,000(323,000)	レベルアップ	福祉政策課
虐待・孤立化 の防止	見守り協定	「八王子市見守り協定マニュアル」にもとづき、見守り協定事業者のスタッフが通常業務中に気づいた「異変」を、市の見守り専用電話に連絡し情報提供する。情報提供が速やかに行えるよう、専用電話番号を記したステッカー10,000枚を作成し、スタッフが使用する車両等に貼付し活用する。(マニュアルは庁内印刷、専用電話は庁舎管理担当部署による設置、ステッカーのみ外部印刷依頼) 連絡を受けた市は、関係機関(高齢者⇒高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)、障害者⇒障害者福祉課(障害者虐待防止センター)、子ども⇒子ども家庭支援センター)と連携して対応し、情報提供された内容について確認後、情報提供元の見守り協定事業者へ連絡する。	26予算措置なし	新規協定締結事業者 4件 (計19件)	レベルアップ	27予算措置なし		福祉政策課

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
虐待・孤立化の防止	シルバーふらっと相談室運営	高齢者に対する相談員による相談窓口業務、地域の実態把握体制の確立及び緊急通報システム等を活用した機器による見守りを実施して、高齢者の見守り強化を図る。	・運営委託料 10,921,000(10,758,000) ・建物借上料 276,000(268,000)	戸別訪問件数:203件<87件> 相談受付件数:650件<544件>	レベルアップ	14,598,000円(10,640,962円)	レベルアップ	高齢者いきいき課
虐待・孤立化の防止	シルバー見守り相談室運営	長房地域に急増している孤立死・孤独死への対策として、地域団体及び関係機関と連携した高齢者見守りネットワークを構築するため、都のシルバー交番事業を活用したモデル事業として「シルバー見守り相談室 長房」を設置する。	・運営委託料 11,989,000(12,212,000)	戸別訪問件数:124件<220件> 相談受付件数:6,177件<1,241件>	レベルアップ	10,855,000円(10,531,032円)		高齢者いきいき課
虐待・孤立化の防止	サロン活動支援事業	高齢者が自ら居住する生活圏の中で、誰もが気軽に参加でき、高齢者同士又は世代を超えた仲間づくりの場を提供する『サロン活動』を自主的に運営する団体の財政的支援をすることで活動を活性化し、「高齢者の外出機会の増加」「孤独感や引きこもりの解消」「健康でいきいきとした生活の実現」を図る。	・ふれあい・いきいきサロン支援事業業務委託 18,612,000(9,627,000)	活動団体数:105団体(91団体)	レベルアップ	20,555,000円(10,285,630円)	レベルアップ	高齢者いきいき課
虐待・孤立化の防止	見守りサポーター養成	「高齢者等の見守りガイドブック」を活用し、町会・自治会、サロン主催者、民生委員、訪問ふれあい員、見守り協定事業者等に対して、見守りサポーター養成研修を行う。 地域の中で見守りサポーターとしての役割を担う人材を育成・確保することにより、見守り機能の強化だけでなく、見守り活動に対する地域住民の意識・関心の向上、地域におけるつながりの構築等を促進する。なお、見守りサポーター養成研修の講師については、市役所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、シルバー交番の職員を想定している。	26予算措置なし	実施回数 4回 受講者数 計115人 (平成27年3月末現在)	レベルアップ	27予算措置なし	レベルアップ	高齢者いきいき課
虐待・孤立化の防止	高齢者ボランティア・ポイント制度	当該制度は、平成20年7月に施行したもので、65歳以上の高齢者が行う介護支援ボランティア活動に対してポイントを付与し、このポイントに応じた交付金等を支給することにより、介護予防効果を高めるとともに、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することを目的としている。登録者数は1,334名、活動施設数は160か所に上る(平成25年4月1日現在)。 今後は、一層のボランティア獲得ならびに居宅利用者の掘り起こし、活動受入施設等との連携強化を図る。	・ボランティア・ポイント委託料 5,535,000(5,156,000) ・ボランティア・ポイント交付金 3,000,000(3,000,000)	高齢者ボランティア登録者 1,974人(1,620人) 高齢者ボランティア受入指定施設等 166施設 64団体 計230 (159施設 18団体 計177)	レベルアップ	・ボランティア・ポイント委託料 6,434,000円(3,431,000) ・ボランティア・ポイント交付金等 6,600,000(2,819,170)	レベルアップ	高齢者いきいき課
虐待・孤立化の防止	高齢者活動 コーディネートセンター	当該事業は、特技を持った高齢者と、それを必要とする個人及び団体とを紹介し、仲介する業務及び、双方の相談業務にあたることにより、高齢者の生きがいづくりに資する高齢者のさまざまな活動を支援することを目的とし、拠点となる高齢者活動コーディネートセンターを事務局として設置している。コーディネーターの登録者数は111人講師登録者は491人(平成25年4月1日現在) 今後は運営日数の拡大を行い、高齢者の活動の幅を広げる。	コーディネートセンター運営委託料 2,252,000(2,086,000)	コーディネーター数 158名(123名) 講師登録者数 518名(535名) コーディネート成立件数 234件(249件)	レベルアップ	コーディネートセンター運営委託料 3,503,000円(2,086,000)	レベルアップ	高齢者いきいき課

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
社会的弱者の支援	地域包括支援センター業務委託	地域における高齢者の心身の健康維持、保健・福祉・医療の向上及び生活の安定を図るため、必要な援助・支援を包括的に実施する中核的機関として、保健師もしくは看護師・社会福祉士・主任ケアマネージャーの専門職を配置した高齢者あんしん相談センター(地域包括支援センター)の運営を委託する。	554,329,000(522,691,000)	センター配置職員数 86人<83人> センター相談件数 58,268件<49,360件>	レベルアップ	564,255,000(534,435,000)	レベルアップ	高齢者福祉課
社会的弱者の支援	認知症高齢者支援	65歳以上の高齢者の3~4人に1人は認知症か認知症予備軍の軽度認知障害と推計される現状にある。 認知症は早い時期からの適切なケアや生活習慣病対策で、症状の緩和や一定の進行抑制につながることから、早期発見・早期診断の取り組みをすすめる。 また、認知症は身体的にも精神的にも介護者がストレスを抱えやすい病気である。認知症介護者の活動拠点を整備・運営することにより、今後急増する認知症の人の家族を地域で支え、孤立の防止を図る。	認知症ネットワーク事業 535,000(-) 認知症早期発見・早期診断推進委託 7,000,000(-) 認知症サロン 4,800,000(-)	【認知症サポーター養成講座】 実施回数159回 参加者数2,942人 【認知症早期発見・早期診断推進事業】 認知症コーディネーター配置 【認知症家族サロン運営】<<新規>> 平成27年2月14日に開設 (愛称:八王子ケアラズカフェ わたぼうし)<新規>	レベルアップ	認知症ネットワーク事業 637,000(395,528) 認知症早期発見・早期診断推進委託 0(7,000,000)※直営化 認知症サロン 9,576,000(4,815,000)	レベルアップ	高齢者福祉課
社会的弱者の支援	高齢者在宅生活支援サービス	高齢者人口が年々増加している中、「介護保険による介護サービス以外のサービス」の充実が求められている。 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用しやすいサービス体系を整備し、一人ひとりの状態に適した日常生活支援や施設でのサービスを提供する。 ショートステイ・おむつ給付・緊急通報システム・火災安全システム・福祉電話・在宅高齢者理容美容・シルバーサポーター	ショートステイ 4,901,000(4,601,000) おむつ給付 在宅 129,407,000 (121,838,000) 入院 4,409,000(4,399,000) 緊急通報システム 7,442,000(6,359,000) 火災安全システム 431,000(401,000) 福祉電話 4,546,000(3,652,000) 在宅高齢者理容師・美容師出張 7,356,000(7,025,000) シルバーサポーター 4,004,000(4,206,000)	【ショートステイ】 利用者数:31人<19人> 利用日数:565日<850日> 金額:3,973,356円<4,161,840円> 【おむつ給付(在宅+入院)】 利用者数:延べ44,136人<延べ43,123人> 【緊急通報システム】 利用者数:170人<131人> 本年度設置数:51人 【火災安全システム】 電磁調理器給付:7件<9件> 【福祉電話】 利用者数:255人<278人> シルバーホン設置件数:260件<263件> 【在宅高齢者理容師・美容師出張】 理容:263人、延べ967回<255人、延べ913回> 美容:265人、延べ769回<249人、延べ687回> 【シルバーサポーター】 ホームヘルパーコース 利用者:33人、延べ1,374回 <30人、延べ1,286回> 軽度作業コース 利用者:69人、131回 <62人、126回>	レベルアップ	ショートステイ 4,042,000(3,973,356) おむつ給付 在宅:133,619,000(127,188,069) 入院:5,200,000(4,619,279) 緊急通報システム 11,235,000(7,813,841) 火災安全システム 393,000(136,806) 福祉電話 5,528,000(4,210,059) 在宅高齢者理容師・美容師出張 7,782,000(7,761,986) シルバーサポーター 4,799,000(4,229,748)	レベルアップ	高齢者福祉課

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる 重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
災害時の要 援護者支援	障害別避難支援 マニュアル策定	障害者支援者や当事者向けの避難支援マニュアルを配付することにより、災害時に自力での避難が困難な障害者の特性を障害別に理解し、態様に応じた円滑な避難・支援方法の周知が図られる。 マニュアルを町会自治会等、地域や関係機関等に配付することにより防災対策における共助の促進が図られる。	・ハンドブック作成業務委託料 1,250,000(-)	作成部数 8,000部 配布先 町会自治会等 1,000箇所 配布部数 4,000部 総合防災訓練での活用 マニュアル策定プロジェクト 10回開催	新規	3,925,000(559,824)		障害者福祉課
社会的弱者 の支援	障害者計画・障害福祉 計画策定	障害者が支援を受け、社会参加し、地域で充実した自立生活ができるよう、基礎となる「障害者計画」と数値目標を定めた「障害福祉計画」を策定する。	・策定委員謝礼 940,000(-) ・計画策定業務委託 6,060,000(-)	計画策定委員会 10回開催 (平成27年3月末現在)	新規	0(5,863,400)		障害者福祉課
社会的弱者 の支援	発達障害児支援	八王子市小児・障害メディカルセンター内に設置する発達障害児支援施設において、発達障害児の早期発見、早期療育を行うとともに、就学後も継続した支援を実施する。	・業務委託料 24,633,000(23,811,000)	利用登録者数86人<80人> (未就学72人・就学後14人) 延利用人員838人<568人> (未就学573人、就学後265人)	レベルアップ	24,633,000<24,513,500> ※レベルアップ事業となっているが予算上はH27は保留となっている。	レベルアップ	障害者福祉課
社会的弱者 の支援	障害者就労支援	障害者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、障害者が安心して働き続けられるよう、身近な地域において就労面と生活面の支援を一体的に提供することにより、障害者の生活の向上を目指すしくみとして一般就労を促進し、障害者の自立と社会参加の促進を図る。	・業務委託料 48,458,000(44,652,000)	相談件数 7,679件<7,037件> 就労支援件数 6,915件<6,416件> 生活支援件数 764件<621件>	レベルアップ	55,776,000(45,542,434)	レベルアップ	障害者福祉課

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる 重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
社会的弱者 の支援	子どもの健全育成	中学生を対象とする無償の塾(市内4か所)を委託により開設するとともに、子ども健全育成支援員をを配置し、主に中学生の日常生活自立支援、養育支援、教育支援など、きめ細かく幅広い支援を行い生活保護受給の連鎖を防止し将来の生活保護費の抑制を図る。	・事業経費 23,363,000(19,952,000)	参加者数 51人<39人>	レベルアップ	41,780,000 (23,244,208)	レベルアップ	生活福祉第二課
社会的弱者 の支援	生活困窮者自立支援 準備	平成27年4月に施行される生活困窮者自立支援法に伴う支援事業を実施するための準備として、委託契約や嘱託員採用等を行う。	6,546,000	-	新規	0 (3,220,031)	新規	生活自立支援課

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる 重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
災害時の要 援護者支援	在宅人工呼吸器利用者 災害時支援事業	災害時の要援護者対策のうち、とりわけ緊急性・特殊性の高い在宅の人工呼吸器利用者に対し、在宅人工呼吸器利用者災害時個別支援計画を作成し、災害時の被害を最小限にとどめる。今年度は訪問看護ステーションに委託していた計画書作成を職員が行う。	・在宅人工呼吸器利用者災害 時個別支援計画作成委託 0(600,000)	個別計画策定件数 25件<30件>	レベルアップ	・予算措置なし(0)	レベルアップ	保健対策課

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる 重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
虐待・孤立化 の防止	子育て支援メール マガジンの発行	子育て支援や支援サービスの利用を促し、児童虐待や産後うつ の予防につなげるため、幅広く多所管に渡る子育て支援サービスの 情報を「タイムリー」かつ「きめ細かく」発信する。	・委託料 1,000,000(-)	・妊娠中…H27年3月配信開始 (0～2歳児はH27年4月から) ・登録者数…896件 H27年3月31日現 在	レベルアップ	子育て支援メールマガジン発行 ・役務費、委託料 2,173,000(1,765,735)	レベルアップ	子どものしあわせ課

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる重点課題 (地域おける～)	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
虐待・孤立化の防止	子育て応援団	子育て中の家庭を地域で見守り、支援するため、子育てに関わるボランティアを育成・支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費(26年度新設) 5,000 ・消耗品費 60,000(120,000) ・ボランティア活動保険料 32,000(33,000) 	登録者数 440名<393名>	レベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 10,000(5,000) ・消耗品費 48,000(56,943) ・役務費(保険料、郵送料) 59,000(49,489) ・施設使用料 3,000(2,350) 	レベルアップ	子ども家庭支援センター
虐待・孤立化の防止	地域子ども家庭支援センター南大沢機能充実	地域子ども家庭支援センター南大沢は、平成17年10月に開設して以来、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じてきている。ケース受案件数が増加し続けており、既存の相談室の環境では対応しきれず、かつ相談者のプライバシーも十分に保護されていない状況にある。そのため、旧南大沢保健福祉センター分室に引っ越すことで、環境改善を図るとともに、地域ボランティア活動の充実やひろば事業をより多くの市民が利用しやすいものとする等、新たな事業展開を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・工事請負費 1,550,000(-) ・需用費(公共料金、施設修繕費) 1,206,000(-) ・電話料 546,000(-) ・委託料(施設管理経費、その他業務委託料) 1,683,000(-) 	相談室を1室→2室に増設し、市民が相談に訪れやすい環境を整えたことにより、より多くの対応が可能となり、事前の他機関との連携もスムーズにでき、親子の子育て不安解消や虐待の未然防止につなげた。	レベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費、修繕料 1,002,000(1,048,093) ・電話料 362,000(136,426) ・委託料 1,535,000(1,640,304) ・機器借上料 25,000(24,108) ・工事請負費 3,871,000(1,549,040) 	レベルアップ	子ども家庭支援センター

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる 重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) ＜前年度実績＞	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
災害時の要 援護者支援	自主防災組織運営	主に町会・自治会、マンションの管理組合が母体となる、自主防災組織の新規結成促進を図るとともに、結成団体に対して活動用資器材を交付し、活動の活性化を促すことで共助体制の強化を図り地域防災力向上を目指す。	19,760,000	新規結成団体数 6団体 (総数 397団体) ＜新規結成団体数 13団体＞		22,400,000 (14,337,141)		防災課
災害時の要 援護者支援	防災意識市民啓発	防災分野の専門講師による講演会や防災に関わる研修会などを開催することにより、市民の防災意識向上を図る。	176,000	平成27年3月28日(土) 防犯・防災フェア 来場者数 約2,000名 ＜平成26年2月20日開催講演会 参加者数 567名＞	レベルアップ	292,000 (252,720)		防災課
災害時の要 援護者支援	土砂災害ハザード マップ作成	土砂災害防止法に基づき東京都が土砂災害警戒区域等を公表することから、土砂災害の危険性を周辺住民に周知し被害の軽減を図るため、公表された地区を対象とした土砂災害ハザードマップを作成配付し、避難態勢の整備を図る。	2,597,000(2,492,922)	広報はちおうじ平成27年3月15日号併 配 配付戸数 35,163戸 ＜配付戸数4,237戸＞		3,851,000 (5,170,338)		防災課

「第2期八王子市地域福祉計画」における平成26年度の施策の成果と平成27年度の展開について

位置づけられる 重点課題	事業名	事業概要	26事業の予算 単位:円(前年経費)	26事業の成果(27年3月末現在) <前年度実績>	新規・レベルアップ別	27事業の予算 単位:円 (前年度決算)	新規・レベルアップ別	担当課
社会的弱者 の支援	消費者保護対 策	市民が安全で安心な消費生活を送れるよう、消費生活基 本計画に基づき、相談を実施するとともに、出前講座やイベ ントを開催する。	・相談員報酬・共済費 18,727,908・2,728,139 (21,402,454) 審議会委員報酬 360,000(360,000) ・法律相談委託料 583,200(472,500)	・相談件数 4,250件<3,970件> ・審議会 2回開催<2回開催> ・法律相談件数 112件<127件> ・出前講座 28回<21回>	レベルアップ	・相談員報酬・共済費 18,759,132・2,777,189 (21,450,131) ・審議会委員報酬 360,000(228,000) ・法律相談委託料 583,200(583,200)	レベルアップ	消費生活センター
社会的弱者 の支援	消費者教育推 進	自ら学ぶことができる自立した消費者の育成を図るため、 地域や教育機関を連携し、研修会などを実施する。	・講師謝礼 54,000(-) ・研修委託料 577,500(-)	・大学教職員向け 消費者教育研修会 2回開催<-> ・高齢者見守り講座 13回開催<->	レベルアップ	・研修委託料 424,440(459,000) ・広報特集号作成委託料 836,134(-)	レベルアップ	消費生活センター